

2011年2月28日

JMエナジー、世界初、扁平角缶型リチウムイオンキャパシタ 及び制御モジュールを開発

JM エナジー株式会社は、扁平角缶型リチウムイオンキャパシタ及び制御モジュールを開発し、今春よりサンプル出荷を開始することをお知らせ致します。

JM エナジー独自の技術を用いて開発した扁平角缶型構造は、従来の円筒缶型と比較すると表面積が大きく放熱効率が高いため、充放電時の発熱による劣化を抑えることができます。また、セルを隙間なく直並列に設置することができるため、システム全体の小型化に貢献します。

高出力型製品(2000F 級)とセルの大きさは同じで高容量を持つ製品(3000F 級)の 2 品種を揃え、サンプル提供を開始します。本事業は、経済産業省の「平成 22 年度低炭素型雇用創出産業立地推進事業」として採択されており、今秋から専用ラインにおいて本格的な商業生産(生産能力 12 万セル/年)を行う予定です。

また、JM エナジーでは、高電圧を必要とするアプリケーションでの小型化、省スペース化ニーズに応えるために、扁平角缶型リチウムイオンキャパシタ専用の制御モジュールも開発しました。モジュール同士の多直列化も対応可能であり、高電圧分野への採用拡大が期待されます。産業機械、建設機械、輸送機械でのピーク電流アシストやストレージ用途、バックアップ電源用途、電圧の標準化やエネルギーの回生用途など、低電圧から高電圧用途まで幅広い分野に展開して参ります。

JM エナジーの扁平角缶型リチウムイオンキャパシタ及び制御モジュールは、3月2日～3月4日の3日間、東京ビックサイトで開催される国際二次電池展に出展されます。

内部抵抗を従来品の約3分の1に低減した新型低抵抗タイプのラミネート型リチウムイオンキャパシタ(今春上市)も合わせて出展予定です。

以上

<参考>



扁平角缶型リチウムイオンキャパシタ



扁平角缶型リチウムイオンキャパシタ用制御モジュール